

図書館だより

NO. 183 2013年7月号
(2013年7月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良1-11-1

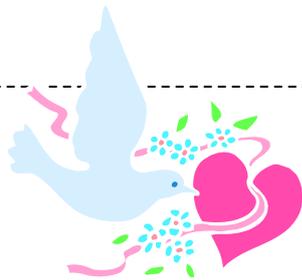
ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

新刊おすすめ本のコーナーができました！

はつかいち市民図書館にご来館いただいた利用者の皆さまに、いち早く新刊本の情報をお知らせするコーナーができました。場所は、雑誌の棚の①番と②番の間です(中央展示のすぐ近くです)。

これから図書館に入る本の中で、話題の本や人気作家の本など、予約がたくさん入ることが予想される本を紹介しています。ご来館の際はぜひ立ち寄ってみてください。

また、このコーナーで紹介されている本は予約が可能です。記載台にある予約カード(ピンクの紙)に記入の上、カウンターまでお出しください。



《中央展示》

『平和について考える』

廿日市市制25周年を記念して、「2013はつかいち平和の祭典」が行われます。はつかいち市民図書館ではこの祭典にちなんで「はだしのゲン」の作者である中沢啓治さんの本や、戦争や平和、そして原爆に関する資料を集めて展示しています。

《さくらびあ展示》

『チェロ、まろやかで コクのある音色』

さくらびあ大ホールで7月24日(水)に開かれる「ラ・クアルティーナ チェロ四重奏コンサート」にちなんで、チェロやN響、弦楽器にちなんだ本を展示しています。

《テーマ展示》

『使う・集める・飾る 暮らしを彩る器』

7月12日は、「洋食器の日」。使っても飾っても楽しい洋食器や器に関する本を集めました。

展示期間：6月28日(金)～7月24日(水)

中学校図書館オリエンテーション



阿品台中学校で図書館の職員が日本十進分類法について説明しています。



四季が丘中学校で図書館の館長が請求記号について説明しています。



はつかいち市民図書館では、廿日市地域の中学校1年生を対象に、図書館及び図書室の利用方法や本を使った調べ方案内をする「図書館オリエンテーション」を行っています。

図書館の職員が学校図書室へ赴き、生徒たちに図書館の種類や、本の並び方、図書館の本を使った調べ方を案内しました。その後、図書室の先生（読書活動推進員）から学校図書室の利用方法の説明をしてもらい、生徒たちに図書室の本を貸し出しするという内容です。

今年度は6月13日（木）・14日（金）に阿品台中学校で、6月17日（月）に四季が丘中学校で行いました。

オリエンテーション後、読みたい本を見つけて借りていく姿がとても嬉しそうでした。



*** 今月の新刊(一般書) ***

図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『ビブリオバトル』 谷口忠大/著 文藝春秋 S010.7/ト
- 『自分らしい人生を創るために大切なこと』 経沢香保子/著 ダイヤモンド社 159.6/サ
- 『逆説の日本史19 幕末年代史編II』 井沢元彦/著 小学館 210.0/イ
- 『サイコパス秘められた能力』 ケヴィン・ダットン/著 NHK出版 361.4/タ
- 『M16秘録』上・下 キース・ジェフリー/著 筑摩書房 391.6/ソ
- 『「疲れない身体(からだ)をいっきに手に入れる本』 藤本靖/著 さくら舎 498.3/フ
- 『料理のきほん練習帳』 小田真規子/著 高橋書店 596/オ
- 『大泉エッセイ』 大泉洋/著 メディアファクトリー 772.1/カ
- 『葬儀・法事のあいさつ実例事典』 生活ネットワーク研究会/著 法研 809.4/リ
- 『ひたすら面白い小説が読みたくて』 児玉清/著 中央公論新社 902.3/コ
- 『家族写真』 荻原浩/著 講談社 F/オ
- 『岳飛伝』5 北方謙三/著 集英社 F/キ
- 『島はぼくらと』 辻村深月/著 講談社 F/ツ
- 『聖なる怠け者の冒険』 森見登美彦/著 毎日新聞出版 F/モ





新刊

こどものほん



『いけのおと』

松岡達英/さく 福音館書店 E/7

森の中、小さな池のほとりで耳をすましていると、いろいろな音が聞こえてくるよ。「げえこげえこ」カエルの鳴き声、「ざーざー」雨の音、「ぴちゅぴちゅぴちゅ」水面をオタマジャクシが泳ぐ、「ぱりぱりぱり」バッタが葉を食べる。初夏の池で生きものたちが起こす音を小さなカエルの視点でつづります。

『旅の絵本Ⅷ』

安野光雅/著 福音館書店 E/7

繊細な筆遣いで描かれた字のない絵本は、旅人と一緒に絵の中を巡る楽しみに満ちています。シリーズ最新刊は、著者が電気のなかったころに思いを馳せて描きました。荷馬車や薪を使っていたころ。風呂敷包みを持って花見に出かけ、収穫には脱穀機を用いる…。原発事故後の今だからこそ伝えたいという日本の原風景です。陸前高田の一本松、映画や昔話の1場面も出てきます。

その他の新刊

『ランドセルは海を越えて』内堀タケシ/写真・文 ポプラ社 376/ウ

『おいしいよ！はじめてつくる かんこくりょうり』

ペ・ヨンヒ/文 チョン・ユジョン/絵 かみやにし/訳 福音館書店 596/ハ

『母さんがこわれた夏』マリャレーナ・レムケ/作 松永美穂/訳 徳間書店 943/ル

ミニブックトーク

やってみよう！はじめてのこと



夏に向けてやってみたいこと、夏休みにチャレンジしたいこと、たくさんありませんか？

今月はみなさんがこの夏に出会うかもしれない、はじめてのことをテーマに本を集めてみました。



ひんやりおいしい夏の食べ物といえば、アイスクリーム、シャーベット、ところてんなどがありますが、それらのシャリシャリ、つるつるとした食感はどうのようにして作られているのでしょうか。はじめての人でも5～10分であっという間にアイスクリームが作れるヒミツや、寒天が30℃で固まる様子なども写真で紹介されていて、見て楽しい、作っておいしい一冊です。(①)

夏休みに山や川へキャンプに行く予定はありますか？ なほちゃんは、大きい子たちがキャンプに行くと聞き「わたしも行く！」と宣言しますが、大きい子たちは「ちっちゃい子はだめ！」と相手にしてくれません。そこでなほちゃんは、重い荷物も持てるし、泣かないし、夜1人でおしっこにも行けると約束し、仲間に入れてもらえることに。そしていざ、大きな荷物を背負ってキャンプへ出発！イキイキとしたなほちゃん表情にも注目です。(②)

ひとりの留守番は不思議とドキドキ、わくわくするものですね。はじめてひとりで留守番をすることになったこうさぎは、お母さんのエプロンをつけて大はりきり！そしてお母さんになったつもりで料理の本を開きますが、字が読めません。そこへ友だちのこりすときつねがやってきて、みんなでスープを作ることになり…。お母さんの口調をまねて振る舞うこうさぎの姿がかわいいお話です。(③)



①『ぶるぶるかたまるふしぎ-絵本おもしろふしぎ食べもの加工①-』生活環境教育研究会/編 農文協 588/エ

②『はじめてのキャンプ』林明子/さく・え 福音館書店 913/ハ

③「おかあさんになったつもり」(『おかあさんになったつもり』森山京/作 西川おさむ/絵 フレーベル館 913/モ。表題話のほか「こりすのはやおき」も収録。)

※この他にも夏におすすめの本を児童コーナー「あたらしくはいった本」の棚の横に展示しています。

平成25年度「子ども司書」養成講座 全体研修①

廿日市市教育委員会主催で、市内の小学生6年生を対象に、平成25年度「子ども司書」養成講座が行われています。

子ども司書とは、読書の楽しさ・大切さを学校や地域で広める、読書活動のリーダーとなる子どもたちのことです。

子ども司書を目指す子どもたちは、2日間の全体研修と地域の図書館での実地研修を行い、学校や図書館で活動していきます。

6月15日（土）に行われた全体研修では、子ども司書になるための流れや図書館の本の並び方について説明した後、おすすめの本のポップ（紹介カード）作りを行いました。

次は、7月にはつかいち市民図書館とはつかいち市民大野図書館で実地研修が行われます。



分類クイズの答えあわせをしています



みんなでポップを作っています



7月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5 ◎	6
7	8	9	10	11	12	13 ★
14	15	16	17	18	19 ◎	20 ■
21	22	23	24	25 休館	26	27 ★
28	29	30	31			

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】 乳幼児
【時間】 1回目 11時～
2回目 11時30分～

※相談窓口で整理券をお渡ししています。
カウンターにお問い合わせください。

★おはなし会

【対象】 幼児～小学校低学年
【時間】 11時～

■ストーリーテリングのおはなし会

【対象】 幼児～大人
【時間】 11時～

※場所はいずれも図書館会議室です。